

公益社団法人私立大学情報教育協会
令和6年度第1回FD情報技術講習会運営委員会議事概要

- I. 日 時：令和6年12月2日(月) 17:00~18:00
II. 場 所：Zoom 会議室
III. 参加者：山名担当理事、高木委員長、二瓶委員、及川委員、渡辺雄委員、井上委員、
朽尾委員、岩崎委員、渡辺淳アドバイザー
事務局：井端事務局長、野本

IV. 検討事項

- (1) 担当理事挨拶
- ・ 昨年度は、参加者への情報共有ができて良かった、今年度もよろしくとの挨拶があった。
- (2) 昨年度の振り返り
- ・ 全体会とワークショップの実施した内容を確認した。
- (3) 今年度のFDのための情報技術研究講習会開催について
- ・ 日時、開催方法は、2月25日(火)に対面方式で、追手門学院大学茨木安威キャンパスを会場に開催することにした。
- (4) プログラム概要について
- ・ 開催概要案をもとに構成を検討し、午前中に全体会を10時から12時で行い、午後にワークショップ4つを13時から17時15分で行うことで検討を進めた。
 - ・ 全体会は、昨年度4件の説明で時間が延長になったことから、「反転授業の質を高める効果的な授業方法を考える」、「生成AIの利活用対応」、「デジタル教材との著作権対応（生成AIを含む）」の3件を情報提供として講演を行うことにした。
 - ・ ワークショップは、昨年度実施した基礎的な教材作成、反転授業、ツール利用などICTの活用を行い、新たにデータサイエンスを設置することで検討した。特に、データサイエンスは、取り組み事例を紹介しながら、参加者が授業のシナリオを検討できるような構成案だが、大学の実情を考慮して均一とはならず、また、認定制度取得までの構成にはならないが、データサイエンスの科目設定ができるレベル想定で検討することにした。
 - ・ ワークショップ前後半の組合せは下記意見から、前半を教材作成とデータサイエンス、後半をICT活用と反転授業にすることにした。
 - ・ 開催要項には、ワークショップの概要と事前準備等を掲載するため、次回までに整理することにした。
- (5) 委員の意見
- ・ 全体会は、反転授業、生成AI、著作権が少しずつ変わりつつあり、重要な部分が入っていると感じた。ワークショップは、担当委員の得意な方法で進めれば良いのではないかと感じた。
 - ・ 反転授業は、まだ根付いていないと思われ自発的な学習者育成に必要ではないか。生成AI利活用は問題をはらみながら有効活用している事例がある。著作権は、困難に感じ詳細が分かり難いところに関心がある。ワークショップは、構成案で改善の指摘は特になかった。
 - ・ どのレベルを想定した講習なのか、参加者が授業に活用できる想定していると感じた。
 - ・ 反転授業について、昨年の内容に新たな視点を入れることは困難だが、リピーターもあるが、新たな参加者もあり、また、ワークショップが分かれる組合せのため、昨年度受けられなかったワークショップを受けたいとの感想もあり、昨年と同内容の想定を基本とした。
 - ・ ワークショップの順番は、ICTに詳しくない参加者を想定した場合、例えば、講習の流れは、教材作成と反転授業を縦に並べる組合せを検討してはどうか。

V. 今後のスケジュール

- ・ 次回の委員会は、12月20日17時30分から開催し、開催要項を確定することになっている。